

『播磨国風土記』研究の 現代的意義

開催日時：2016年11月12日（土） 9:30 開場 / 10:00 ~

会場：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント1階多目的室

- 10:00 開会あいさつ 石川日出志 明治大学
- 10:10 趣旨説明 吉村武彦
- 10:20 **Edwina Palmer** (パーマー・エドウィーナ) 前ウェリントンのヴィクトリア大学 (NZ)
海外の日本文学者からみた播磨国風土記の魅力—口承文学—
- 11:10 **坂江 渉** 兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室
歴史学から読み解く播磨国風土記の神話—口頭の祭祀儀礼—
- 12:00-13:00 休憩
- 13:00 **古市 晃** 神戸大学大学院人文学研究科
『播磨国風土記』からみた倭王権の地域編成
- 13:50 **吉村武彦** 明治大学
『播磨国風土記』とクニ・国土
- 14:40-14:55 休憩
- 14:55 **和田晴吾** 兵庫県立考古博物館
『播磨国風土記』と考古学
- 15:45-16:45 討論
- 16:45 閉会あいさつ



伊和神社の社叢 (写真中央矢印部 / 宍粟市山崎町母梧付近より)

入場無料・申込不要

問合せ先 Email: kodai■meiji.ac.jp (■を@に変換)

主催：文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
明治大学日本古代学研究所

共催：兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室
兵庫県立考古博物館



●会場アクセス●JR・地下鉄丸の内線：御茶ノ水駅より徒歩3分
地下鉄千代田線：新御茶ノ水駅より徒歩3分